

「第 11 回応用力学シンポジウム」の開催

標記シンポジウムを下記の通り開催いたします。多数の方のご参加をお願い致します。

日時：2008年9月9日(火) 8:20-17:50(予定)

場所：東北大学青葉山キャンパス人間・環境系実験研究棟(〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6, 添付地図と下記 URL 参照)

<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=e>

主催：土木学会応用力学委員会

参加費：土木学会正員 1,000 円, 土木学会学生員 無料
非会員 2,000 円(ただし, 講演者は 1,000 円です)
(当日会場にて受け付けます)

懇親会:

日時：9月9日(火) 18:30-20:30(予定)

会場：東北大学青葉記念会館内レストラン四季彩(下記 URL 参照)

<http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=f&build=06>

会費(予定): 5,000 円, 学生 2,000 円(当日会場にて受け付けます)

申込：参加人数把握のため, FAX 03-5379-0125 あるいは E-mail: masunaga@jsce.or.jp にて, 学会事務局担当増永までご連絡下さい。

応用力学論文集 Vol.11 の販売:

2008年8月末刊行, 予価 9,000 円(送料 1,000 円は別途必要)
事前に購入を希望される方は 2008年8月22日(金)までに土木学会事務局担当の増永宛に FAX: 03-5379-0125 または E-mail: masunaga@jsce.or.jp にてお申込みください。(上記期限を過ぎますと, 開催前までにお手元へお送りすることが出来ません。)なお会場においても販売いたします。また, 発表者の方は必ず論文集を 1 冊購入していただきますので, 改めてお申込みいただく必要はありません。事前に送付いたします。

プログラム

表彰式および特別講演: A 会場土木大講義室

13:00-13:25 応用力学論文賞授与式

13:25-14:10 特別講演

「Computational biomechanics of arterial diseases from micro to macro scales (動脈疾患に対するミクロからマクロスケールの計算生体力学)」

T. Yamaguchi (東北大), H. Kondo (東北大), K. Sato (東北大), Y. Shimogonya (東北大), T. Hayasaka (東北大), K. Yano (東北大), D. Mori (八戸高専), Y. Imai (東北大), K. Tsubota (千葉大), T. Ishikawa (東北大)

A 会場: 土木大講義室

8:20-10:00 3. 計算力学(その1)

座長: 岡澤重信(広島大学)

(3-1) たたみ込み理論による近似精度の向上と構造物の最適耐震設計法への応用に関する研究

杉本博之, ○佐藤直樹, 阿部淳一

(3-2) FREE VIBRATION ANALYSIS OF SHEAR DEFORMABLE RECTANGULAR PLATES WITH A LINE HINGE

○Mei HUANG, Hiroshi MATSUDA, Chihiro MORITA, Zhao CHENG

(3-3) BF-spline Ritz 法を用いた Mindlin 平板の動的応答解析

○和田裕明, 水澤富作, 名木野晴暢

(3-4) 圧縮粘性流れにおける形状決定に関する検討

○中島修治, 川原睦人

(3-5) AMR 法を用いた Space-Time 有限要素法による移動境界を有

する浅水長波流れ解析

○高瀬慎介, 田中聖三, 檜山和男

10:10-11:50 3. 計算力学(その2)

座長: 檜山和男(中央大学)

(3-6) SPH 法による Violent Sloshing 解析

○陸田秀実, 清水 雄, 土井康明

(3-7) 有限要素法による 3 次元乱流解析における壁関数の具体化

○長谷部寛, 野村卓史

(3-8) 3 次元時間域異方性動弾性問題における高速多重境界積分方程式法について

志戸岡永, 大谷佳広, ○西村直志

(3-9) 波動方程式に対するガラーキン法に基づく数値計算手法の特性評価

○山田貴博

(3-10) 三次元塑性加工問題におけるマイクロ-マクロ非連成解析

○渡邊育夢, 寺田賢二郎

14:20-16:00 3. 計算力学(その3)

座長: 寺田賢二郎(東北大学)

(3-11) 剛塑性解析法による強度分布最適化を援用した最適形状に関する一考察

小林俊一, ○柳本佳楠子, 田村 武

(3-12) 三次元 PDS-FEM を用いた平行亀裂の進展経路の評価

○若井 淳, 沖中知雄, 堀 宗朗, 小国健二

(3-13) 鉄道用バラスト材の繰り返し変形解析のための時間域均質化法定式化

○紅露一寛, 嘉数東陽, 阿部和久

(3-14) 時間域境界積分方程式法によるレーザ励起弾性波動の指向性に関する研究

○飯盛浩司, 吉川 仁

(3-15) き裂進展を考慮した構造最適設計

○鈴木克幸, 市川幸太, 稲田二郎, 栗原康行

16:10-17:30 3. 計算力学(その4)

座長: 紅露一寛(新潟大学)

(3-16) 壁面の反射に注目したセルオートマトン法による 2 次元騒音伝搬解析に関する基礎的研究

○富樫孝介, 永井大和, 杉田尚男, 宮木康幸

(3-17) AN IMPROVEMENT OF THE DISCRETE METHOD FOR ANALYZING THE BENDING PROBLEM OF PLATES

Mei HUANG, ○Hironobu TAKAHASHI, Hiroshi MATSUDA, Chihiro MORITA

(3-18) 演算子積分法および高速多重極法を用いた新しい二次元時間領域動弾性境界要素法について

○斎藤隆泰, 石田貴之, 福井卓雄, 廣瀬壮一

(3-19) Cohesive crack モデルを用いた準脆性材料の動的破壊解析手法に関する基礎的研究

車谷麻緒, ○岩田 暁, 寺田賢二郎, 岡澤重信, 檜山和男

B 会場: 土木第二講義室

8:40-10:00 3. 計算力学(その5)

座長: 鈴木克幸(東京大学)

(3-20) Cohesive crack モデルに対する陽的近似アルゴリズムの 3 次元ひび割れ進展問題への応用

○車谷麻緒, 寺田賢二郎, 京谷孝史

(3-21) Ant Colony Optimization による最適経路探索アルゴリズムの構築と道路線形最適化問題への応用に関する研究

○阿部淳一, 杉本博之

(3-22) HPM による薄板の離散化極限解析

田尻康之, ○見原理一, 竹内則雄

(3-23) 舗装版切断機騒音に対する先端改良型遮音壁の効果

○比江島慎二, 一色威輝

10:10-11:30 4. 非線形力学(その5)

座長: 田村 武(京大)

(4-20) 植生の吸水作用が地盤の安定性に及ぼす影響

河井克之, ○山田竜太郎, 飯塚 敦, 橋 伸也, 大野進太郎

(4-21) 非線形均質化法によるニッケル超合金の弾塑性解析

- 齊木 功, 川内 真, 森 勉, 岩熊哲夫
 (4-22) 鉄道車両用逸脱防止壁の性能評価に関する研究
 ○深澤 仁, 園田佳巨
 (4-23) 異方性超弾性モデルによる織布強化ゴム特性の数値解
 ○浅井光輝, 木村嘉之, 西本安志, 西野好生, 園田佳巨

14:20-15:40 7. 流体力学 (その5)

- 座長: 杉原裕司 (九州大)
 (7-20) デューナー平坦床遷移に及ぼす圧力勾配の影響
 ○泉 典洋, 佐藤博重
 (7-21) 非定常跳水を伴う開水路乱流の URANS 計算
 中山昭彦, ○池永健太
 (7-22) UNSTEADY SIMULATION OF TURBULENT AXIAL
 VORTEX BY MEANS OF A NON-LINEAR K-ε MODEL
 ○Md. Shahjahan ALI, Takashi HOSODA, Ichiro KIMURA
 (7-23) 開水路側岸凹部のアスペクト比の違いが三次元流れ構造に
 及ぼす影響 ○門谷 健, 藤田一郎, 椿 涼太

C 会場: 土木第一講義室

8:40-10:00 8. メンテナンスの力学問題 (その1)

- 座長: 岩下健太郎 (茨城大)
 (8-1) EFFECT OF FIBER FATIGUE RUPTURE ON MONOTONIC
 AND CYCLIC CRACK BRIDGING LAWS IN
 DISCONTINUOUS FIBER REINFORCED COMPOSITES
 ○Takashi MATSUMOTO
 (8-2) 板曲げを受ける CFRP 板接着鋼板のはく離強度
 ○石川敏之, 佐々木裕, 山田健太郎
 (8-3) 高強度鋼を用いた既設鋼I桁補修補強法の提案と健全度診断
 ○廣畑幹人, 安藤 元, 金 裕哲
 (8-4) 損傷パラメータを用いた劣化モルタルの力学特性評価手法
 ○山本清仁, 小林 晃, 青山成康

10:10-11:50 8. メンテナンスの力学問題 (その2)

- 座長: 松本高志 (北海道大)
 (8-5) 同期された加速度計を使った実構造物の復元力特性の計算
 手法の開発 ○本多弘明, 堀 宗朗, 鈴木崇伸, 古川洋之
 (8-6) Wavelet 変換を用いた大型斜面崩壊実験場における加速度セ
 ンサによる信号特性の検証と崩壊の兆候検知に関する研究
 ○松本健作, 玉置晴朗, 矢澤正人, 福菌輝旗, 酒井直樹,
 岡田 崇, 竹澤弘久, 宋 東烈, 小葉竹重機, 清水義彦
 (8-7) 鋼橋から発生する比較的低い周波数騒音の推定と現地計測
 による検討 ○長津真司, 平野廣和, 佐藤尚次
 (8-8) GPS 測位解析におけるデータ欠損率と精度の関係について
 ○井上忠治, 池田尚秋, 佐伯昌之, 志波由紀夫, 畑 明仁,
 佐藤貢一
 (8-9) TENSILE PROPERTIES OF FRP COMPOSITES AT
 ELEVATED AND HIGH TEMPERATURES
 ○Shenghu CAO, Zhishen WU

14:20-15:40 8. メンテナンスの力学問題 (その3)

- 座長: 石川敏之 (名古屋大)
 (8-10) 独立成分分析による橋梁振動のブラインド逆畳み込み同定
 ○大島義信, 小林義和, 山口隆司, 杉浦邦征
 (8-11) 鋼板腐食に伴う応力再配分を考慮したシェル要素による解
 析法の開発と実用問題への適用
 ○玉川新悟, 三好崇夫, 奈良 敬
 (8-12) 時間域 BIEM によるレーザ超音波計測データを用いた表面
 クラックの深さ決定解析 ○吉川 仁, 川田朋和, 西村直志
 (8-13) 交通状況の自動判別機能を組み込んだ低速車自動車両重量
 分析システム
 ○鈴木啓悟, 佐々木栄一, 三木千壽, 山田 均, 高岡 愛,
 宮崎早苗

- 15:50-16:30 1. 物理数学力学問題
 2. 逆問題

座長: 鈴木 誠 (清水建設)

- (1-1) 揺らぎを持つ半無限弾性波動場における領域積分方程式を
 用いた逆散乱解析手法の展開 ○岩崎健太郎, 東平光生
 (2-1) 高振動数領域のフーリエ振幅を用いた局所損傷同定
 ○古川愛子, 大塚久哲

D 会場: 大会議室

8:40-10:00 4. 非線形力学 (その1)

- 座長: 木本小百合 (京都大)
 (4-1) 巨視的弾性・高サイクル疲労過程の繰返し塑性挙動
 ○堤成一郎, 村上幸治, 後藤浩二, 豊貞雅宏
 (4-2) EXTENDED FORMULATION OF ISOTROPIC HARDENING
 STAGNATION BEHAVIOR IN CYCLIC LOADING OF
 METALS BY THE SUBLOADING SURFACE MODEL
 Koichi HASHIGUCHI, ○Toshiyuki OZAKI
 (4-3) ANISOTROPIC CONSTITUTIVE EQUATION FOR
 FRICTION WITH TRANSITION FROM STATIC TO KINETIC
 FRICTION AND VICE VERSA
 ○Koichi HASHIGUCHI, Shingo OZAKI
 (4-4) 3次元弾塑性 FEM による孔あき鋼板ジベルの設計式に関す
 る基礎的考察 園田佳巨, ○手嶋康博

10:10-11:50 4. 非線形力学 (その2)

- 座長: 野田利弘 (名古屋大)
 (4-5) 確率数値限界解析を用いた粘性土地盤の支持力特性
 ○笠間清伸, 善 功企, Andrew J. Whittle
 (4-6) 正負交番荷重下における R C 部材のエネルギー吸収性能
 ○米元佑介, 石井建樹, 石田博樹, 須賀政彦
 (4-7) 曲げ変形を受けるコンクリート充填鋼管柱の合成作用の有
 無を考慮した内部性状に関する三次元有限要素解析
 ○松村寿男, 水野英二
 (4-8) 非関連型の Drucker-Prager 弾塑性体の漸近解を使用した最大
 摩擦せん断応力破壊基準によるせん断破壊の考察
 ○新保泰輝, 矢富盟祥
 (4-9) 不飽和土/水連成有限要素解析における空間離散化手法の検
 討 ○金澤伸一, 橋 伸也, 河井克之, 大野進太郎, 飯塚 敦

14:20-16:00 4. 非線形力学 (その3)

- 座長: 矢富盟祥 (金沢大)
 (4-10) 不連続面を有する材料の変形挙動に関する実験的および数
 値解析的研究 ○巽 隆有, 吉田秀典
 (4-11) 結合力クラックモデルを用いた準脆性材料の破壊エネルギー
 評価法の提案
 ○湯本達也, 車谷麻緒, 山田真幸, 寺田賢二郎, 京谷孝史
 (4-12) 不安定トラス構造のつりあい形状の探索に関する基礎的研
 究 田村 武, ○西林加織
 (4-13) AN ELASTO-VISCOPLASTIC NUMERICAL ANALYSIS OF
 THE SWELLING PROCESS OF UNSATURATED
 BENTONITE
 ○Fusao OKA, Huaiping FENG, Sayuri KIMOTO, Yosuke HIGO
 (4-14) 中空ねじり試験機を用いた豊浦砂の変形特性に関する研究
 ○大川 広, 桑野二郎, 日下部治, 太田秀樹

16:10-17:50 4. 非線形力学 (その4)

- 座長: 飯塚 敦 (神戸大)
 (4-15) MODELING OF MICROSTRUCTURAL EVOLUTION TO
 SIMULATE UNDRAINED SHEAR STRENGTH VARIATION
 OF KAOLIN CLAY
 ○Nguyen Hop MINH, Oda MASANOBU, Suzuki KIICHI,
 Laksiri Chandana KURUKULASURIYA
 (4-16) LABORATORY MODEL TEST AND NUMERICAL
 ANALYSIS OF BEARING CAPACITY OF RIGID STRIP
 FOOTING ON SLOPE
 ○Liang LU, Katsuhiko ARAI, Zongjian WANG,
 Ryuji NISHIYAMA
 (4-17) 密度と拘束圧依存性を考慮した砂の構成モデルの検証

- 飛田善雄, 三塚保法, 山口 晶, 吉田 望
 (4-18) 地下水位を考慮した盛土斜面の地震時安定解析
 ○王 宗建, 荒井克彦, 岡島尚司
 (4-19) ベンダーエレメントによる不飽和土のせん断弾性係数Gの測定と評価
 ○川尻峻三, 加藤正司, 川口貴之, 澁谷 啓

E 会場: 建築第二講義室

8:40-10:00 7. 流体力学 (その1)

- 座長: 前野詩朗 (岡山大)
 (7-1) 階段式魚道におけるプール間落差と遡上率の関係
 鬼東幸樹, 秋山壽一郎, ○森 悠輔, 小林達也, 飯國洋平
 (7-2) 多点水位ハイドログラフを用いた新しい流量推定法の水内川への適用
 ○岩苔和広, 河原能久, 森下 祐, 内田龍彦
 (7-3) 十勝川千代田実験水路の基礎的な土砂挙動特性
 ○島田友典, 渡邊康玄, 横山 洋, 石川 伸, 吉柳岳志, 武田淳史, 大島省吾
 (7-4) EXPERIMENTAL STUDY OF CHANNELIZATION BY SEEPAGE EROSION
 ○Adichai PORNPRONMIN, Norihiro IZUMI

10:10-11:50 7. 流体力学 (その2)

- 座長: 泉 典洋 (北海道大)
 (7-5) 単一水制周辺の河床変動と流れに及ぼす相対水高の影響
 ○常盤俊輔, 平川隆一, 渡邊訓甫, 大本照憲
 (7-6) 活発な浮遊砂を伴う小規模河床波の線形安定解析
 ○中里遥介, 泉 典洋
 (7-7) 3-D FLOOD FLOW STRUCTURES IN A DOUBLY MEANDERING COMPOUND CHANNEL UNDER DOMINANT RELATIVE DEPTH
 ○GM. Tarekul ISLAM, Yoshihisa KAWAHARA, Nobuyuki TAMAI
 (7-8) 植生の繁茂を考慮した Tidal Creek の形成過程に関する研究
 ○岩崎理樹, 清水康行
 (7-9) 管路における砂-水界面の安定性 ○関 陽平, 泉 典洋

14:20-16:00 7. 流体力学 (その3)

- 座長: 大本照憲 (熊本大)
 (7-10) 数値流体解析による二箱桁断面橋梁の耐風安定性の検討
 ○川崎貴之, 樽川智一, 佐藤 亮, 平野廣和, 佐藤尚次
 (7-11) NUMERICAL PREDICTION OF SHIELDING EFFECTS ON FLUID-FORCES ACTING ON COMPLICATED-SHAPED OBJECT
 ○Satoru USHIJIMA, Nozomu KURODA
 (7-12) トラス構造空力特性の数値解析
 岡本大寿, ○中山昭彦, 竹田広希
 (7-13) 縮尺模型を用いた風洞実験における幾つかの知見
 ○内田孝紀, 杉谷賢一郎, 大屋裕二
 (7-14) 自由水面流中の変形を伴う物体に作用する流体力の数値計算
 ○黒田 望, 牛島 省

16:10-17:50 7. 流体力学 (その4)

- 座長: 牛島 省 (京都市大)
 (7-15) 高木群落の鉛直構造による流速分布の遷移に関する基礎的研究
 ○池田裕一, 岩松優二郎
 (7-16) 斜面上の波動場における組織渦構造と気体交換機構
 ○杉原裕司, 河津那由他, 桜木幸司
 (7-17) 琵琶湖北湖の冷却期を想定した熱対流の数値実験と確率モデルによる考察
 ○細田 尚, 磯野太俊
 (7-18) 孤立波を模擬する管内振動流発生装置の提案とその作動特性の検討
 山路弘人, 田中 仁, ○ストヨ, 田中 創
 (7-19) 2層地盤における鉛直浸潤時の間隙空気の挙動に関する研究
 ○齋藤雅彦, 正木寛昭, 市成準一

F 会場: 建築第三講義室

8:40-10:00 6. 地震防災・耐震の数理と力学 (その1)

- 座長: 小野祐輔 (京都市大)
 (6-1) 矩形断面容器におけるスロッシング対策案の検討
 ○池田達哉, 井田剛史, 平野廣和, 佐藤尚次
 (6-2) 傾斜側壁を持つ貯水池におけるスロッシングの固有周期
 ○小野祐輔, 緒方浩二, チャールズ・スコソーン
 (6-3) スリットをもつ遮蔽板を用いた円筒タンク用スロッシング防止ダンパーの開発
 ○米山 望, 高島大輔, 澤田純男, 三浦正博
 (6-4) 急流河川を対象とした津波の河川遡上シミュレーション
 ○工藤健太郎, 玉田 崇, 安田浩保

10:10-11:50 6. 地震防災・耐震の数理と力学 (その2)

- 座長: 飛田哲男 (京都市大)
 (6-5) 地震によるマンホールの最大浮上量の簡易推定法
 ○飛田哲男, 井合 進, 姜 基天, 小西康彦, 原園照二
 (6-6) 強震観測点の記録と常時微動 H/V スペクトル比を利用した近傍の未観測点の強震動推定法
 原田隆典, ○中村真貴, 王 宏沢, 齊藤将司
 (6-7) 実寸大模型を用いた振動台実験および数値実験に基づく心棒の寸法および本数が墓石の耐震性に及ぼす影響の検討
 古川愛子, 三輪 滋, ○清野純史
 (6-8) EFFECTIVENESS OF WOODEN BOND BEAMS IN DRY STONE MASONRY HOUSES
 ○Hari PARAJULI, Junji KIYONO, Yusuke ONO
 (6-9) 湾曲状仕口ダンパーの耐震補強への適用に関する研究
 ○中田裕喜, 島端嗣浩, 角掛久雄, 大内 一, 島田 功

14:20-16:00 6. 地震防災・耐震の数理と力学 (その3)

- 座長: 市村 強 (東京工業大)
 (6-10) 進行波入力によるダムと基礎岩盤と断層連成系の三次元的解析法
 ○有賀義明, 柏柳正之, 水橋雄太郎
 (6-11) 階層型解析による断層-構造物系を考慮した構造物の地震時挙動予測手法
 ○市村 強, 山木洋平, 堀 宗朗
 (6-12) DATA CONVERSION OF GIS TO URBAN AREA MODEL FOR NATURAL DISASTER SIMULATION
 ○Kengo TANAKA, Sobhaninejad GHOLAMREZA, Muneo HORI, Tsuyoshi ICHIMURA, Kenji OGUNI
 (6-13) 不確実環境下における共同作業を考慮した復旧計画策定
 中津功一朗, 古田 均, 野村泰稔, ○石橋 健, 服部 洋
 (6-14) 非線形系の応答の時間周波数特性の複素数表現に基づく入力波の推定
 本田利器, ○宮本 崇

G 会場: 建築第四講義室

8:20-10:00 9. 相互作用系力学 (その1)

- 座長: 宇都宮智昭 (京都市大)
 (9-1) 余震の影響を考慮した簡易推定損傷評価法に関する基礎的研究
 ○木村至伸, 中村ゆかり, 河野健二, 久保直哉
 (9-2) DYNAMIC RESPONSE EVALUATIONS OF DUAL CYLINDRICAL STRUCTURE DUE TO WAVE FORCE
 ○Min-su Park, Kenji KAWANO
 (9-3) 道路橋上照明柱の振動応答に及ぼす交通荷重の影響
 ○飯田 毅, 河野健二, 伊津野和行, 宇高竹和
 (9-4) 半無限周期構造における表面波モード解析手法
 阿部和久, ○笠原祐樹, 紅露一寛
 (9-5) 道路橋-付属構造物系のレベル1地震動に対する応答評価
 ○伊津野和行, 津島佑一郎, 飯田 毅, 河野健二

10:10-11:50 9. 相互作用系力学 (その2)

- 座長: 阿部和久 (新潟大)
 (9-6) 平底円筒貯槽の浮上り挙動への陽解法の適用性に関する基礎的研究
 ○中島照浩, 安藤嘉紀, 谷口朋代
 (9-7) ANALYSIS OF HYDRODYNAMIC FORCES ACTING ON A

ROLLING BODY BY USING NAVIER-STOKES SOLVER

Emma Patricia BANGUN, ○Tomoaki UTSUNOMIYA

(9-8) MODELING THE RESPONSE OF FLEXIBLE RISERS IN THE QUASI-STEADY REGIME

○Carlos RIVEROS, Tomoaki UTSUNOMIYA, Katsuya MAEDA, Kazuaki ITOH

(9-9) 地盤との非線形動的相互作用を考慮した高炉ガスホルダー

の地震応答解析 ○原田隆典, 浜崎 晃, 王 宏沢, 杉野仁彦

(9-10) 多径間連続橋の地震時挙動に及ぼす温度荷重の影響に関する研究

○松田泰治, 宇野裕恵, 宮本宏一, 柚木浩一, 長 悟史, 松尾龍吾

14:20-15:40 5. 離散体の力学 (その1)

座長: 前田健一 (名古屋工業大)

(5-1) DETECTING COLLISIONS AND FINDING CONTACT DURATIONS IN EXPERIMENTAL GRANULAR FLOW

○Subodh DHAKAL, Kazuyoshi IWASHITA, Masanobu ODA

(5-2) 鉄道バラストの三次元挙動測定装置の開発—溶接継目衝撃荷重の現場測定と DDA パラメータ設定法の提案—

○相川 明

(5-3) 2 軸圧縮条件下における粒状体内ひずみの空間自己相関特

性

○並河 努

(5-4) SPring-8 マイクロ X線 CT による粒状体の 3 次元微視構造の定量化

○松島亘志, 上杉健太郎, 中野 司, 土山明

15:50-16:50 5. 離散体の力学 (その2)

座長: 松島亘志 (筑波大)

(5-5) AGGREGATION OF UNEQUAL-SIZED AND OPPOSITELY CHARGED COLLOIDAL PARTICLES IN A SHEAR FLOW

○Motoyoshi KOBAYASHI

(5-6) 土石流の挙動に関する解析と磁界を用いた計測システム

川村洋平, ○杉山文乃, 倉岡千郎, 松島亘志, 大川 浩一

(5-7) 粒子構造に着目した粒状体の斜面上の流れ挙動

平林大輝, ○福間雅俊, 前田健一

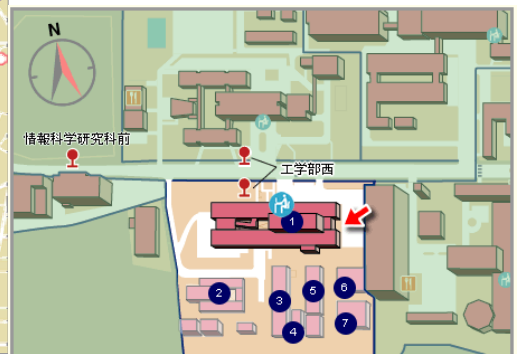
*発表者の方へ

本年度のシンポジウムは 7 会場で開催されます. 特に指示がない限り講演時間は 1 論文あたり 20 分 (発表 15 分, 質疑応答 5 分) です. 講演会場には液晶プロジェクターを用意します. ただし, プロジェクターに接続する PC は各自でお持ち下さい.

交通案内

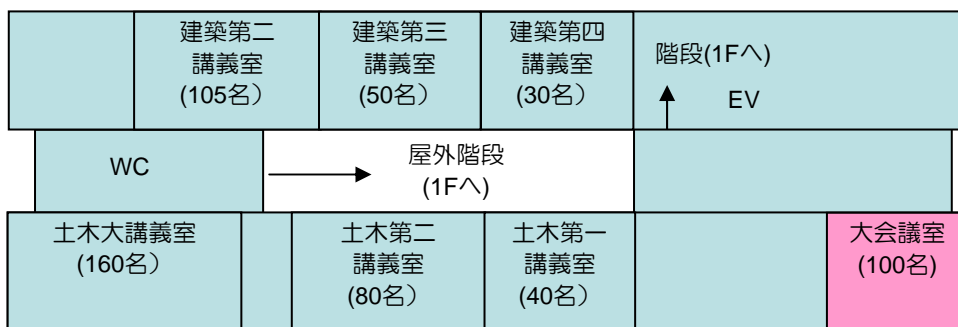


市営バス: 仙台駅前西口バスプール9番乗り場から, 工学部経由動物公園循環, 宮教大, 青葉台, 成田山行きに乗車. 「工学部西」で下車. 約20分, 220円.
タクシー: 約20分, 1600円程度.



会場見取り図

2F



注: 大会議室のみ1F